

【樹木の部屋】

ブラシノキ (フトモモ科ブライノキ属 Callistemon speciosus)

和名：ブラシノキ

別名：カリステモン、ハナマキ(花槇)、キンポウジュ (金宝樹)

英名：Bottlebrush

フトモモ目 常緑小高木 原産地：オーストラリア

花言葉：はかない恋い、素直な気持ち 花の色：赤、白、桃



← 写真-1 ブラシノキ

撮影日：2016年5月25日
撮影場所：モナコヴィル地区
(モナコ公国) にて
撮影者：M さん



← 写真-2 ブラシノキの花

撮影日：2016年5月25日
撮影場所：モナコヴィル地区
(モナコ公国) にて
撮影者：M さん

→ 写真-3 ブラシノキの花 (開花直前)

撮影日：2016年5月25日
撮影場所：モナコヴィル地区
(モナコ公国) にて
撮影者：M さん



モナコF1グランプリの会場とモナコ湾を見下ろす高台。市庁舎近くの高木類の植栽の中に咲いていました。ブラシノキは、国内でもよく見かける花です。

観賞用に栽培され、5-6月頃に開花。花弁は緑で小さくて目立たないが、赤（ときに白）の長い花糸が目立つ。穂状花序をなし、花序全体がブラシのように見える。花序の先から枝が伸びるという珍しい特徴を・・・。果実は蒴果で、見た目には枝全体を取り巻く昆虫の卵のように見え、果実には粉状の種子が入っており、オーストラリアでよく起こる森林火災が起こると割れて種子を放出するそうです。

ブラシノキ属には計34種があり、そのうちの数種が観賞用に栽培されているそうです。一般には赤色の品種が植えられていますが、ピンクや白花の咲く品種もあるそうです。



← 写真-4 シロバナブラシノキ

撮影日：2016年5月21日
撮影場所：京都府立植物園にて
撮影者：M さん



← 写真-5 シロバナブラシノキの花

撮影日：2016年5月21日
撮影場所：京都府立植物園にて
撮影者：M さん

植物園散策中、赤色のブラシノキの隣に植えられていました。この色を観るのは初めて。調べて観ると、どうやらシロバナブラシノキらしい。

主に白花や緑を帯びた白花が咲く品種です。種小名からして、花はしだれて咲くようですが、単に白花で下垂しないものもシロバ

ナブラシノキとしているものもあり混同されているのかもしれないとのことです。開花期が春から秋と長く、花穂は白色から緑を帯びた白色だが、赤色のほか、桃色、薄紫色を帯びたものもあるそうです。